

トヨタ ガズレーシングフェスティバル2015 キッズ記者体験レポート

小林 風花(小学5年生)

脇阪選手

脇阪選手は、自分の性格を「負けず嫌い」と、言っていました。脇阪選手は、よく知り合いに、「どれくらいスピードが出るの?」、と聞かれるそうです。「だいたい時速300km位かな?」と、答えるそうです。しかし、レースで大切なのは最高時速ではなく、「どれくらいの重さでどれだけ速く走れるか」ということと、「加速」だと教えてくれました。

「どれくらいの重さでどれだけ速く走れるか」ということを達成するためにトレーニングをしているそうです。一番辛いのは持久走で「若い人ときそって、負けて部屋で疲れて動けなくなってしまいうから」だそうです。負けず嫌いらしいですね。

「ベアになりたい人はだれですか?」と言う質問。答えは「熱血な人」。例えば、平川選手がいいのだとか。しかし問題があるそうです。そ・れ・は・年・齢・差。「約20才の年齢差があるので認めてもらうしかないですね。」と脇阪選手。ははは、ご謙遜を。



平手選手

平手選手のマシンはレクサスRCF。外車と一緒に左ハンドルだそうです。500馬力では中はハンドルが曲がるようになっています。夏場は暑くエアコンはありますが細い管からでてくるだけなので60~70℃位になるそうです。その上飲み物も500ccしか乗らないのでとにかく大変だ、と言っていました。SFでは、一度脱水症状になってしまったそうです。

左ハンドルになったときは大変だったそうです。GTでは、去年まで右ハンドルだったので視点が変わり場所が分からなくなったりもしたそうです。「この辺なら大丈夫かな?」と思って走っていたら芝生の上だった、なんてこともよくあったそうです。でも、今は訓練したので上手に運転できるようになったそうです。

GTの車の値段は、車だけで1~2億円! 装置などを含めると1年間で10億円かかるそうです。しかし、良い車を作るにはこの位かけても普通なんだそうです。



記者をやってみて、話を紙にメモするのが大変でした。

でも、脇阪選手のインタビューはジョークなども入れてくれて楽しかったです。

平手選手は車の部品など詳しく説明してくれたので、分かりやすかったです。

来シーズンもお二人に頑張ってもらいたいです。